

前期の教育課程修了

本日で前期の教育課程が修了します。(前期の授業はすべて修了です。)

前期の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございました。

本日午後に前期の終業式を行い、生徒の皆さんに「通知表」を担任から手渡します。

この通知表は、教科の成績や日常生活の記録などをとりまとめ、本人と保護者の皆様へ「前期の教育活動の成果」として「お知らせ」するものです。また、教員自身も通知表の作成によって自身の指導の振り返りをしています。

本校の「通知表」について・・・

昨年度までは各家庭で確認後に押印していただき、学校で回収して、学校にて保管するスタイルでしたが・・・「通知表」はあくまで本人と保護者の皆様に成果を「通知」するもので「回収しないスタイル」に変更しました。(担任と本人で内容を確認後に持ち帰れます。)

今後、押印して学校への提出は不要です。各家庭で保管してください。(なくさないようにファイルを用意しておりますのでご活用ください。)

また、記載の内容も前期は「総合所見」を廃止しています。総合所見に書かれていた内容は、面談等で、直接お伝えすることとします。(学校生活で気になることがあれば、気軽に電話にて問合せをお願いします。)

この通知表を各自、そして各家庭で効果的に活用してほしいと考えています。

通知表に記載されている「学習の記録」いわゆる教科ごとの評価・評定は・・・

まず、観点別に3段階での評価となっています。

これは観点ごとに設定された目標に対して、どれだけ実現できているのかを評価したものです。

「A」は、目標の達成度が十分満足と判断されるもの

「B」は、目標の達成度がおおむね満足であると判断されるもの

「C」は、今後の努力に期待するもの

また、観点別評価を総合的に判断して5段階での「評定」としてまとめています。

まずは自分自身で、5段階の評定結果に一喜一憂するだけではなく、観点別の評価を確認して、これまでの取組で「プラスとなった面」や「マイナスとなってしまった面」について、しっかりと自己分析をして、次の学習活動につなげてほしいと思います。

そして、各家庭で一緒に通知表の「振り返り」をお願いいたします。

その際、保護者として・・・日頃からゲームばかりをしていたり、友達と遊んでばかりだったりの状況があると「苛立ち」を感じてしまうかもしれません・・・「感情的に怒る」のではなく、今後の家庭学習で力を入れるべき部分を真剣に考えるためにも、5段階の評定だけでなく、細かい観点別評価まで一緒に振り返るようにしてください。各教科の各観点について前期の学習を振り返り、「良かった」ところをとことん褒め、「課題」となるところには、徹底的に寄り添ってほしいと思います。

現在の「課題」が明確な場合は、無理矢理「勉強しなさい!」ではなく、子どもと一緒に目標設定を行い、子どもが自主的・主体的に勉強に取り組める環境づくりを各家庭で目指してほしいと感じています。「課題」が見つからない場合は、是非、学校まで日頃の学習活動の様子などを聞いて、今後の作戦会議等をしてください。

前期の「通知表」を活用して、さらにパワーアップして後期を迎えてほしいと思います。